

出雲リハケアネット訪問セミナー 【基礎編】・【実践編】

～日常生活能力をチーム・地域で共有する！「機能的自立度評価法＊FIM」～

【本セミナーの概要】

「この人はどれくらい、自分で着替えができるのかな？」
「この人はどれくらい、トイレ動作の介助が必要なの？」

みなさんは、対象としている利用者の方々の日常生活動作の能力をどのように多職種で共有していますか？

介助量が多い、少ないというのはスタッフの介助技能、感覚によっても異なってしまいます。「あの人は介助量がそう大きくない」と聞いたけれど、実際は介助量が大きかったという経験、ありませんか？

チームの中で、

- 日常生活動作能力を「もれなく」
- お互いが共有出来る形で
- 職種を越えても伝わるように
- 簡便に判定できたなら？？？

こんな便利なことはありませんよね？



そんな困った状況を解決してくれるツールが
「FIM（フィム：機能的自立度評価法）」です。

地域包括ケアシステムの構築に向けて、これまで以上に職種、施設を越えた情報共有が必要となります。
出雲圏域ではこのFIMが日常生活動作の能力を共有するための基本的なチェックツールとして用いられることとなります。

そこで、出雲リハケアネットでは皆さんの施設にお伺いして、
専門家がその概要や使用方法をお伝えする「訪問セミナー」を企画しました。

ぜひこの機会に、FIMを使い始めてみませんか？

基礎編の内容

はじめてFIMに触れる方でも安心の講義内容

- 機能的自立度評価法 (FIM) ってどんなもの？
- 日常生活能力を点数化しちゃおう！
- どうやって使うの？～動画を使った実践方法～

実践編の内容

FIMによる採点を実践で学べる講座

- FIM 概要の復習
- 動画を使って採点を実践しよう！
- 出雲圏域版 FIM 評価表の使用方法

講師陣は専門家が務めます

- 森脇 拓郎 (斐川生協病院 理学療法士)
- 曾我部雅也 (出雲市立総合医療センター 理学療法士)
- 板倉 聡宏 (出雲市民リハビリテーション病院 理学療法士)
- 三島 佳祐 (出雲市民リハビリテーション病院 理学療法士)
- 足野 正洋 (出雲市民リハビリテーション病院 理学療法士)
- 田中 良佳 (出雲市民リハビリテーション病院 作業療法士)
- 景山洋一郎 (出雲市民リハビリテーション病院 言語聴覚士)

受講者には出雲圏域版FIMポケットマニュアルを配布！

受講料

無 料

(出雲市在宅医療介護
連携推進事業により
全額補助します。)

■申し込みは裏面をご覧ください■

お申し込み方法

お申し込みにあたって：基礎編・実践編共通

- 本セミナーは平成30年4月より受付を開始し、5月より各施設への訪問を開始します。
- 訪問は先着順です。申し込み後に日程を調整させていただきます。申し込み多数の場合はしばらくお待ち頂くことがあります。
- 本セミナーは施設毎の受付とさせていただきます（1名の施設でも可とします）。
- 各種勉強会グループへ出張も行いますが、その場合は10名以上のグループでお申し込みください。
- 本セミナーは共通の資料を利用して実施しますので、講師による内容の違いはありません。
- 同時に受講できる人数は最大50名までです。
- 出雲圏域外からの申し込みも可能ですが、出雲圏域の施設を優先させていただきます。
- 会場は受講者の方が収容できるスペースがあれば問題ありません。
（プロジェクター、スクリーンなどが準備出来ない場合、当方から持参しますのでご安心ください）



「実践編」の受講要件

「実践編」は以下のセミナーを修了した施設（方）のみ申し込み可能です。

- FIM訪問セミナー基礎編の受講施設（者）
- 既にFIMを導入している施設（者）
- FIM講習会in出雲の受講者
- その他、出雲リハケアネット主催（共催）のFIM研修会を受講した者

申し込みは、下記を明記の上、
出雲リハケアネット事務局までお申し込みください。

【記載事項】

- ①受講希望コース（基礎編or実践編）
- ②施設名
- ③受講者数
- ④代表者氏名
- ⑤代表者連絡先（電話、メールアドレスどちらでも可）
- ⑥参加者名簿（氏名と職種を記載してください）
- ⑦備考（受講に関するご質問があれば併記してください）

セミナーではFIMが簡単に採点できる
「出雲圏域版 FIMポケットマニュアル」
を配布します



出雲リハケアネット事務局

（出雲市民リハビリテーション病院：担当 三島）

〒693-0033 出雲市知井宮町238

TEL 0853-21-2733 FAX 0853-24-2906

E-mail : rehacarenet-izumo@izumoriha-hp.or.jp